

OUTLOOK:

Assessment:

31

バグダッド日誌（3月16日）

○頼られる日本隊スタッフLO

MNC-1 情報部の幕僚として勤務している[REDACTED]（ナイトシフト）と[REDACTED]（デイシフト）は、交代で24時間勤務し、休日なく勤務している。デイ・ナイトを1ヶ月交代で実施しているが、ナイト・シフトは昼・夜が完全に逆転してしまうので慣れるまでは大変そうである。

スタッフLOは、情報部分析チーフ（米陸軍少佐）のもと2週間の研究期間を与えられ研究結果を報告している。[REDACTED]は、研究命題のチーム・リーダー（各国からの幕僚5人でチームを編成）に既に3回指名され、勤務期間のほとんどをリーダーの重役を担っている。[REDACTED]が勤務を開始する1ヶ月以上も前に着任して、未だ一度もチーム・リーダーを実施していない将校もいるにも拘わらずである。情報本部から派遣された専門家であるため、頼られるのは仕方ないとしても、すこし頼りすぎではないかと私は感じている。

今西3佐もただ一人の海軍マークでありながら、最近はずっかり勤務に慣れセントリクス検索のエキスパートと化している。また[REDACTED]も現在ナイト・シフトのチームリーダーを実施し、多忙な毎日を送っている。月・月・火・水・木・金・金は海軍で慣れているのであろうが、日本人特有のまじめさでシフト間は討議中心で実施し、シフト時間を終わってから意見を集約（勿論英語で）して翌日の討議を実施している。最近の睡眠時間は2～3時間であろうと思われ、あまり無理をしないように注意している。

おそらく、日本の二人がいないと情報部は機能しないのではないかとというのが私の見立てである。

昨日[REDACTED]の研究発表があり、見学にいったが発表後の質疑応答の方が発表時間より長いぐらいに「鋭く・視点の良い発表」でチーフも日本隊に最大の敬意を払ってくれた。私は分析チーフに各国の将校にもチームリーダーの機会を均等に与えて欲しい旨を伝えておいた。しかし日本隊スタッフLOの二人は「頼られるうちが花」と気にもしていない様子である。